

令和元年第4回西之表市議会定例会

所信表明並びに提案理由説明



おはようございます。

本日、令和元年第4回西之表市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には御出席をたまわり、まことにありがとうございます。

朝晩もだいぶ寒くなり、間もなく師走を迎えようとしています。

国の来年度予算編成も、最終段階にさしかかろうとしています。

年末の政府原案にむけて、地方団体等とのやりとりも激しくなってくるものと思います。私も市民生活の向上のため、できる限りの努力をしたいと考えております。

また、今年も、事務の執行に当たり、数々の課題が散見された年でもありました。

行政を預かる者として、その責任を痛感しており、職員と一丸となって、諸課題への対策を急ぎたいと考えております。

議員の皆様のご意見、市民のご意見を十分に踏まえながら、適切に対応してまいります。

それでは、議案説明に先立ちまして、産業や地域の状況、行事経過や課題などについてふれたいと思います。

まず、農業についてであります。

本格的な収穫の時期を迎える基幹作物のサトウキビは、製糖工場の原料受入を12月10日から開始し、年末年始休暇や増産推進日等をはさんで、来春の4月10日に受入終了、製糖終了予定は4月12日となるようです。

今年は昨年と比較すると、台風等による災害が少なかったこともあり、見込み平均反収6,168キログラムと、回復傾向にあります。しかしながら、高齢化による担い手不足や耕作面積減少が進んでいることから、受託組織の強化や、夏植え・秋植えを推進するなど、次年度を見据えて面積・生産量確保に努めたいと考えています。

また、澱粉原料用サツマイモにつきましては、予想反収が約61俵と昨年並みの見込みであり、また、安納いも等の青果用さつまいもについても、予想反収2,100キログラムと昨年並みの見込みとなっています。

畜産につきましては、和牛の子牛セリ市で依然として好調な価格取引が続いています。

有害鳥獣のシカ対策については、捕獲と防護の両面からの対策を進めており、捕獲頭数については9月末現在で、1,774頭となりました。

林業につきましては、市有林における間伐を実施しており、本年度はおよそ7.8haの施業となる見込みです。

次に一連の行事等について経過を報告いたします。

まず観光・交流についてです。

9月19日から3日間、南種子町の竹崎海岸及び本市のよきの海岸で日本プロサーフィン連盟が主催するプロサーフィンツアー及びプロトリアルが開催されました。

10月26日には、市民会館において種子島アロハフェスタ2019が開催され、今年度から1市2町の広域的な取り組みとして、実行委員会主催により行われました。島内外から200名を超える出演者のもと、色鮮やかな衣装で、華やかにフラダンスが披露されました。

10月27日、西之表港日泊みなと公園を発着として島内を自転車で一周するジロ・デ・種子島2019が開催されました。昨年に引き続き2回目となる今年も島内外からサイクリング愛好家が多数集まり、沿道の温かい声援やおもてなしが行われる中、ゴールを目指しました。

10月30日から11月8日にかけて商店街を中心に「くろしお

の芸術祭2019」が開催されました。9年目となる今年は、各店舗に設置するアート看板のほか、壁ギャラリーやアートベンチ、さらには、小学生による西之表港堤防での魚のオブジェ制作など、韓国や国内の芸術家と多くの地元参加者による制作、交流が行われました。

11月2日から3日まで、福岡市天神において、種子島観光物産展を初めて開催しました。11月23日から24日まで、東京都浅草、まるごとにつぼんにおいて、種子島観光物産展を開催しました。

民間の皆様のお力をお借りしながら、これらの活動は種子島の魅力をPRするいい機会となりました。

11月23日から24日まで、ホストタウン事業として、元オリンピックでバレーボール日本代表の迫田さおりさんによる講演会とバレー教室があり、小学生から一般参加者まで交流が行われました。

次に社会教育分野についてです。

第73回県民体育大会が9月21日、22日の両日開催され、相撲競技少年の部と弓道で西之表市チームが3位という好成績を収めております。

10月13日には、第57回市民体育祭が行われました。今大会

の特色としては、昼食時間を利用して、ヨガ教室を実施したほか、来年の東京オリンピックへの出場が期待される東京学芸大学4年生久保木春佑選手くぼきしゅんすけによる走り高跳びのエキシビジョンを実施し、多くの市民の皆様を魅了しました。台風19号の動向により開催が危ぶまれましたが、幸いにして当日は、秋晴れの素晴らしい天候に恵まれ、大きな事故もなく無事終了することができました。

11月2日には、陸上競技の元オリンピックである東海大学の高野進教授による「かけっこ・ランニング教室」が、小学生から社会人まで150人の参加のもと、市営グラウンドで開催されました。

市営グラウンドにつきましては、本市のスポーツ、健康づくりの拠点ではありますが、老朽化が著しいため、そのあり方につきましてもアドバイスをいただいたところです。

11月17日には第48回市駅伝競走大会を開催しました。これまで市内一周駅伝競走大会として開催してきましたが、少子高齢化も相まって各校区から選手を出すことが難しいとの声が上がったことから、スポーツ推進員を中心に交通事情等を勘案しながら全体的な見直しを行い、その結果、今大会は伊関小学校前をスタートし、現和浅川橋先を折り返して田之脇公民館までの全10区間14.4

kmで開催しました。

文化関係では、11月2日、3日の両日に第48回市民文化祭を、翌週9日、10日の両日には4年に1回の持回りである第45回熊毛地区広域文化祭が市民会館で開催されました。数多くの団体に日頃の活動成果を発表していただきました。

文化財関係では、10月10日付で、鉄砲館所蔵の「川口雪蓬の書」を市有形文化財に指定しました。これにより、市の指定文化財は56件となります。

11月23日と24日には、市内華道団体、市内小学生による「西之表市いけばな展」を旧上妻家住宅で開催しました。いけばな文化の奥深さに感銘を受け、市民や子どもたちの作品に心が和みました。

続いて、この間の保健福祉分野の動きも紹介したいと思います。

10月1日から、消費税率の引上げによる子育て世帯の負担軽減策として、3歳以上及び0歳から2歳までの非課税世帯の子どもを対象に幼児教育・保育の無償化が開始され、関係する施設の方々と連携と協力により、大きな混乱もなく導入に至ることができました。

11月9日には、令和元年度西之表市戦没者追悼式が、わかさ公



園慰霊塔前で行われました。

議員各位の御出席もいただき、遺族の方々とともに戦没者に追悼の意を込め、献花をさせていただきました。

11月11日には、市の福祉団体が一堂に会して、第24回西之表市福祉ふれあいスポーツ大会が市民体育館で行われました。

スポーツ及びレクリエーションを通じて、親睦を深める楽しい一日になったのではないかと思います。

馬毛島問題に関しても触れたいと思います。

10月23日に防衛省を訪問し、馬毛島に関する現状について確認してまいりました。日米合意の進展状況等について確認しました。国は2011年以降、調査・検討を進めているわけですが、状況に進展はなく、FCLPを推進するため、馬毛島に自衛隊施設を設置する方針に変わりない旨、確認したところです。

今月25日発行の市政の窓におきまして概要を掲載しておりますのでご覧いただきたいと思います。

それでは、主な議案についてご説明いたします。

議案第28号は、人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求

めるものであります。議案第29号は、公職選挙法の一部改正に伴い、条例の一部を改正しようとするもの、議案第30号は施設の廃止に関する条例、議案第31号は災害関連法令の一部改正により、条例の一部を改正しようとするもの、議案第32号は幼児教育・保育の無償化の実施に伴う関係法令の改正により、条例の一部を改正しようとするもの、議案第33号及び34号は、水道事業に関する条例の改正及び制定であります。

議案35号は、令和元年度西之表市一般会計補正予算（第3号）であります。歳入歳出予算の総額に二千二百四十七万八千円を追加し、予算総額を百八億八千二百四十五万一千円とするものです。

本予算の主なものについてご説明いたします。

民生費・衛生費関連におきまして、前年度の精算にかかる国・県支出金の返納金として四千六百七十六万六千円を追加しております。

また、来年開催されます東京2020オリンピック・パラリンピックの聖火リレーのルートに本市が選定され、来年4月29日に挙行されます。その地元開催費負担金として三百六十六万九千円を追加しております。次に、農業関連で、さとうきび経営の安定化を推進し、栽培面積と農家戸数の維持拡大を図るため、機械収穫を受託

している西之表市農業振興公社に対し、さとうきびの出荷中出し料金を対象とした補助金を創設し、六十九万一千円を追加しています。

議案第36号から議案第39号は、それぞれの特別会計及び水道事業会計に必要な補正を行おうとするものであります。

以上、本議会の議案について議員各位の御審議をお願い申し上げ、提案理由の説明といたします。

なお、国の動きとも関連し一般職員の給与に関する条例など数件の議案の追加上程を予定していますのでご審議のほどよろしく願いいたします。

令和元年11月28日

西之表市長 八板 俊輔